

令和 6 年 6 月 14 日現在

機関番号：14401

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：20K13426

研究課題名（和文）冷戦変容期における米中「人民外交」の研究

研究課題名（英文）People's Diplomacy: The Transformation of U.S.-China Relations in the Cold War

研究代表者

南 和志（Minami, Kazushi）

大阪大学・大学院国際公共政策研究科・准教授

研究者番号：80865197

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：コーネル大学出版会から『People's Diplomacy: How Americans and Chinese Transformed US-China Relations during the Cold War』と題した研究書を、研究の集大成としてオープンアクセスにて出版した。研究期間全体を通じて実施した研究の成果については、上記研究書に加え、英文査読誌から論文2本を発表、1本が査読中である。加えて、編著担当章を1本発表した。これらの研究成果により、1970年代を中心とする冷戦期の米中関係について、政府間外交の枠組みを超えた、より広範な両国関係に着目した理解が促進された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究を通じて、冷戦変容期（1970年代）、アメリカと中国が非国家アクターを通じて非公式な外交関係を構築した過程、すなわち「人民外交」の展開を明らかにすることができた。冷戦期の敵対関係を克服するため、米中政府は非国家アクターを利用し、経済・文化・教育の様々な分野で交流活動を活発化させることで、両国関係の改善を図った。本研究は、米中両国の幅広い史料を用い、これまで主に政府間外交の枠組で論じられてきた冷戦期米中関係の変容を、人民外交という新しい視点から再考察することで、現代米中関係への従来の理解を覆すことができたと言える。

研究成果の概要（英文）：The main result of this research was published as a single-authored book, titled People's Diplomacy: How Americans and Chinese Transformed US-China Relations during the Cold War, published open-access by Cornell University Press in 2023. Other results were published as articles in peer-reviewed journals in English, such as Diplomatic History and Cold War History. One article is currently under review. In addition, one chapter was published in an edited volume. Through these results, this research has promoted understanding of U.S.-China relations in the 1970s that went beyond the conventional focus on government-to-government relations.

研究分野：国際関係史

キーワード：米中関係 中国系アメリカ人 クエーカー教徒 ニューレフト

1. 研究開始当初の背景

近年、外交史・冷戦史の分野では、非国家アクターに注目する研究が増えている。政策決定者を主な分析対象とし、政府の安全保障政策や他国との外交交渉のみに注目する従来の手法では、国際関係の多様性・複雑性を十分に把握できなかった。しかし、1980年代以降、入江昭などの歴史家が、国際関係において外交・軍事といった要素だけでなく、文化・思想などの要素も重視する姿勢を打ち出すと、非国家アクターの影響を考察する研究がアメリカを起点に広まり、現在では日本でも盛んである(例えば、入江昭著、篠原初枝訳『グローバル・コミュニティ 国際機関・NGOがつくる世界』、早稲田大学出版部、2010年)。

しかし、冷戦期の米中関係史においては、このような研究はほとんど見られない。1949年の中国共産党革命以降、アメリカと中国はお互いを敵国と見なし、両国間のあらゆる交流を厳しく制限したほか、朝鮮戦争、台湾海峡危機、及びベトナム戦争など、様々な場面で対立してきた。既存の研究では、これらの危機をめぐる政府間外交に焦点が当てられることが多く、その枠組みの外側に位置するアクターに関しては、ほとんど注目されていない(例えば、Chen Jian, *Mao's China and the Cold War*, University of North Carolina Press, 2001)。

2. 研究の目的

本研究は、このような現状を打破すべく、冷戦変容期の米中関係における非国家アクターの役割を分析する。ソ連を共通の脅威とみなした米中両国は、1972年のニクソン大統領訪中を皮切りに、イデオロギーの壁を超えて関係改善を進め、1979年に国交正常化を果たす。特筆すべきことに、米中間には国交正常化以前から非公式な外交関係が存在した。1971年のアメリカ卓球団訪中(ピンポン外交)以後、何千人もの両国民が海を渡り、多岐にわたる分野で交流活動を展開したのである。米中政府はこれらの活動の枠組みを管理したが、正式な国交が存在しなかったため、直接の介入は控えた。このように「非国家アクターが非公式な外交関係を構築する過程」は、「人民外交」(people's diplomacy)と呼ばれた。

1949年以後の米中関係は、両国政府の関係と同一視されてきた。すなわち、米中関係は政府の外交交渉で決まるということである。このような考え方は、冷戦期だけではなく、現在の米中関係も規定している。しかし、19世紀中盤から20世紀前半にかけて出現した「特別な関係(special relationship)」とも言われる米中関係は、両国の非国家アクターが築いてきたものであった(Michael Hunt, *The Making of a Special Relationship: The United States and China to 1914*, Columbia University Press, 1983)。本研究の目的は、これまで両国政府の外交交渉の結果として論じられてきた冷戦変容期の米中関係を、人民外交を通じて非国家アクターが構築した新たな二国間関係として捉え直すことで、現代米中関係の常識を覆すことである。

3. 研究の方法

本研究においては、以下の史料館を利用した。

米国

Bentley Historical Library, University of Michigan
Columbia University Rare Books and Manuscript Library
Gerald R. Ford Presidential Library
Harvard University Archives
Jimmy Carter Presidential Library
Library of Congress
Lyndon B. Johnson Presidential Library
MIT Institute Archives and Special Collections
National Academy of Sciences Archives
National Archives and Record Administration
New York Public Library
Richard Nixon Presidential Library
Rockefeller Archive Center

中国

Beijing Municipal Archive, Beijing
Guangdong Provincial Archive, Guangzhou
Guilin Municipal Archive, Guilin
Hebei Provincial Archive, Shijiazhuang

Hubei Provincial Archive, Wuhan
National Library, Beijing
Shaanxi Provincial Archive, Xi ' an
Shanghai Municipal Archive, Shanghai
Tianjin Municipal Archive, Tianjin

4 . 研究成果

- ・コーネル大学出版会から出版された研究書は博士論文をベースにしており、貿易・科学技術・教育・旅行・スポーツ・文化芸術の各分野における米中交流を分析した。
- ・Diplomatic History 誌に発表した論文では、1970 年代の米中交流における中国系アメリカ人（在米華人）の役割・立場、特に台湾の国際的地位に関する議論について分析した。
- ・Cold War History 誌に発表した論文では、冷戦期全体を対象に、米国のクェーカー教徒の対中態度、および彼らが主導した中国との非公式交流について分析した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Minami Kazushi	4. 巻 47
2. 論文標題 Perpetual Foreigners: Chinese Americans and the U.S. Opening to China	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Diplomatic History	6. 最初と最後の頁 446 ~ 471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/dh/dhad006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gong Bingyi, Kazushi Minami	4. 巻 -
2. 論文標題 From Imperialists to Pacifists: American Quakers and U.S.-China Relations in the Cold War	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Cold War History	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 南和志
2. 発表標題 The Global Energy Crises and Chinese Oil Diplomacy, 1973-1983
3. 学会等名 workshop on the oil crises and transformation of the international economic order of Asia in the 1970s (国際学会)
4. 発表年 2021年 ~ 2022年

1. 発表者名 南和志
2. 発表標題 冷戦期米中人民外交の展開
3. 学会等名 アメリカ史学会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 Kazushi Minami	4. 発行年 2024年
2. 出版社 Cornell University Press	5. 総ページ数 264
3. 書名 People's Diplomacy: How Americans and Chinese Transformed U.S.-China Relations during the Cold War	

1. 著者名 Kazushi Minami	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 -
3. 書名 Chinese Economic Statecraft from 1978 to 1989: The First Decade of Deng Xiaoping's Reforms	

1. 著者名 Kazushi Minami	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 -
3. 書名 Protest in the Vietnam War Era	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

中国	Shanghai University			
----	---------------------	--	--	--